

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

テクニカル・ワークショップ

「伝わるポスター・プレゼン」

開催のお知らせ・募集要項

このワークショップは少数言語・危機言語のフィールドワーク、ドキュメンテーションをおこなっている研究者・学生の皆様を対象に、調査・研究に役立つ知見や知識を伝えることを目的としています。

今回は「ポスター発表」をテーマとしています。近年、国際学会を中心に言語学の分野でもポスター発表が多く取り入れられるようになってきました。しかしながら、ポスター発表の性格、効果的なポスターデザイン、発表の技法といったことに対しては十分な情報が与えられていないという現状もあり、ポスター発表に抵抗を感じる方も多いと思います。今回のワークショップでは参加者の皆さんとともに、効果的なポスター発表はどうあるのが望ましいのかということを考え、実践する場としたいと思います。

上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

ワークショップは2回に分けて開催します。初回のワークショップでのレクチャーをもとに、2回目では参加者各自がポスター発表をおこない、相互に評価しあう予定です。

記

- 開催日時： [第1回] 2019年 7月 10日 (水) 13:00~16:00
[第2回] 2019年 7月 17日 (水) 13:00~16:00 【両日とも参加必須】
- 開催場所： 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA 研)
マルチメディア会議室 (3F・304)
- 内容： 第1回 (7月 10日)：「伝わるポスター発表」とは何か？
青井隼人 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所／国立国語研究所)
「伝わるポスター発表にするために心がけたいこと」
大槻知世 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
「メッセージが伝わるポスターデザイン」
第2回 (7月 17日)：ポスター発表の実践 (参加者によるプレゼン実習)
- 参加資格：言語学のフィールドワークをおこなっている、もしくはこれからおこなおうとしている研究者・学生 (大学院生以上を原則とします。それ以外の方についてはメールでご相談ください) で、発表のトピックをお持ちの方。トレーニングの場です。トピックは既発表のものでもかまいません。両日とも参加必須です。異分野の方やトピックをお持ちでない方、また両日いずれかの参加が困難な方はご相談ください。
- 定員： 20名程度
- 参加申込方法：下記 URL にアクセスして、専用フォームからお申し込みください。その際、フォームの「その他」の項目に、発表のトピックを記入してください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。なお、右記 QR コードからでも同じページにアクセスできます。



<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/190710-flws-tech/>

- 申込締切：7月 9日 (火) 正午 (ただし定員に達し次第締め切ります)

8. 問い合わせ先：「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」
事務局

info-lingdy[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください）

9. その他：
- ・ワークショップは日本語でおこないます。
 - ・参加は無料です。
 - ・他の参加者に聞いてみたいことや解決したい悩みが具体的にある方は、申込フォームの「その他」にお書きください。

※ご不明な点がございましたら、上記「8. 問い合わせ先」までご連絡ください。

※過去のテクニカル・ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/data-pro-ws> をご覧ください。

主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

以上